

タンポポ調べ

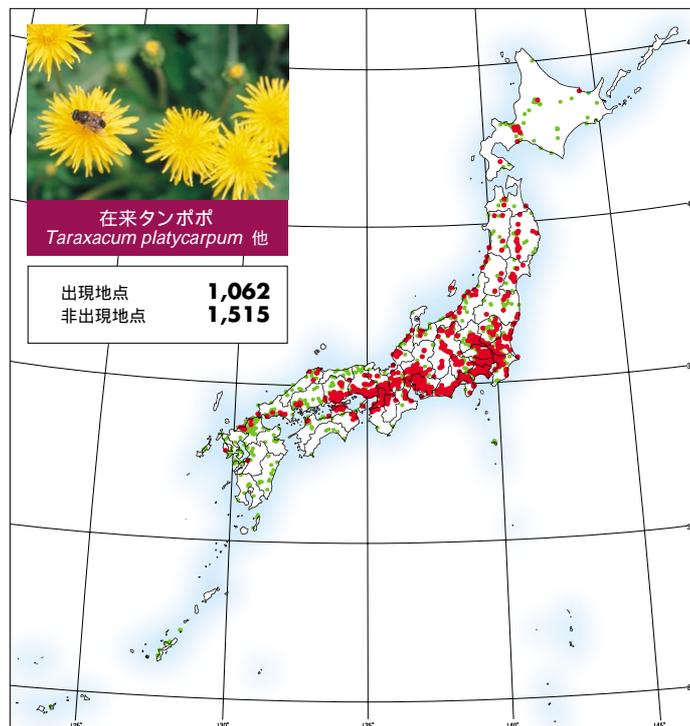
タンポポ分布図

種がはっきりと確認（同定）できたタンポポ類について、種別の分布図を作りました。タンポポ類は過去の身近な生きもの調査でも2回、調査の対象となっていますが、証拠となる花と果実（そう果）の実物（標本）を確認して精度の高い分布図が作られたのは初めてです。

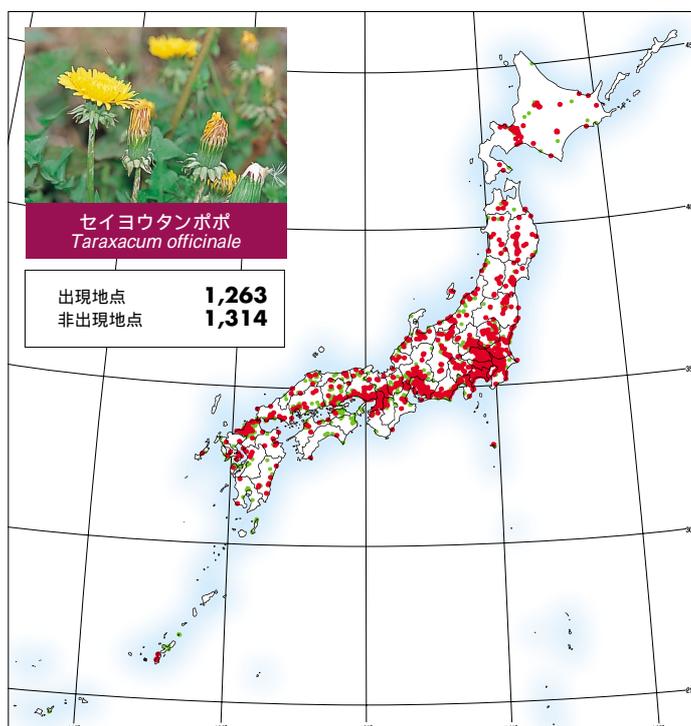
シロバナタンポポは、関東以西が分布の中心でした。在来タ

ンポポとしたもののなかには、カントウタンポポ・カンサイタンポポのような2倍体タンポポ（*1）の種と、エゾタンポポのような倍数体タンポポ（*2）の種の両方が含まれています。出現地点が多かったのは、関東地方から瀬戸内海沿岸地域にかけての2倍体タンポポの分布域でした。

セイヨウタンポポは、4種のなかでもっともまんべんなく全国に分布していることがわかりました。また、アカミタンポポはそれに比べてやや分布が狭く、関東地方から瀬戸内海沿岸地域が分布の中心でした。



* 在来タンポポ：シロバナタンポポも在来タンポポの仲間ですが、ここではシロバナタンポポ以外を在来タンポポとしました。



(* 1) 2倍体タンポポ：染色体を2組（合計16本）持ち、花粉が雌しべに付くことで種子ができるタンポポ
(* 2) 倍数体タンポポ：染色体を3～5組持ち、花粉が雌しべに付かなくても種子ができるタンポポ